

当科のコロナワクチンの個別接種、最終新規募集を調整中

先に堺市から個別接種は概ね10月末までに2回目を終了できるようにという通達があったため、当科では9月27日(月)から、10月14日(木)から19日(火)にかけて1回目接種となる募集を開始し、予約募集は一旦ほぼ終了予定としておりましたが、土曜や夕方診予約のご要望はまだ多く、10月9日(土)の午前や午後、16日(土)の午前、11日(月)・14日(木)・18日(月)の夕方にもう少しご予約いただけるよう調整中です。なお、個別接種がなくなったあとは集団接種会場が残ることになっています。

当科では自費で新型コロナウイルス抗体検査ができます

当科ではワクチンで作られるはずのスパイク蛋白に対する新型コロナウイルス抗体を調べることができます。アボット社の試薬を用いた『SARS-CoV-2抗体 S IgG』で、精度は高いです。陽性は50AU/mL以上ですが、どのくらいの数値なら感染しないか明確な基準がある訳ではなく、参考値としてください。3mL程度の採血になります。予約は不要です。

自費検査で、1回税込み4,000円です。通常平日3日程度で結果が出ます。ご希望なら結果を郵送します。1回の検査なら、ワクチン2回目終了後、3~4週間経ってからをお勧めします。費用はかかりますが、3か月後や6か月後などにどれくらい減っているか経時的に見て頂いても結構です。

結果が低いからといってワクチンの追加はできません。逆に高いからといって感染しないという証拠や保証もありません。今後、個人を特定できない形で集計し、公表させていただく可能性があります。データ使用を希望されない方はお申し出ください。

※現在感染しているかどうかわかる検査ではありません。

新型コロナの点滴治療薬2種類目承認、飲み薬も治験段階

製薬会社	候補薬	状況
メルク	モルヌピラビル	最終段階の治験を評価中。早ければ9月中にもデータを公表
ロシュ	AT-527	最終段階の治験を評価中。今秋にデータを公表予定。2022年の実用化を目指す
ファイザー	PF-07321332	最終段階の治験を評価中。早ければ9月中にもデータを公表
塩野義製薬	S-217622	7月に安全性を確認する治験を開始。年内に大規模な治験の予定
富士フィルム富山化学	アビガン	昨年からの治験を実施中

今年の7月19日に軽症・中等症患者向けの抗体医薬である、中外製薬の点滴薬の抗SARS-CoV-2モノクローナル抗体「ロナプリーブ™」が特例承認されました(いわゆる「抗体カクテル療法」)。9月27日には同じく重症化リスクが高い軽症・中等症患者向けの抗体医薬で、英製薬大手のグラクソ・スミスクライン(GSK)の点滴薬のモノクローナル抗体「ゼビュディ™」も特例承認されました。前者の中間解析では入院または死亡のリスクを70.4%低減し、後者では79%低減したとあります。

軽症者が使える飲み薬の治験も進んできており、ロシュの「AT-527」の中間解析では、プラセボ群に比べ、投与2日目でウイルス量の減少幅が平均80%大きかったとあります。期待してしまいますね。

出典:読売新聞 2021年9月14日朝刊『コロナ飲み薬開発大詰め』、同 2021年9月28日朝刊『軽症治療薬 2例目承認 厚労省「ソトロビマブ」』、中外製薬HP『ロナプリーブ点滴静注セット300・1332 臨床成績』、GSK HP『モノクローナル抗体「ゼビュディ点滴静注液500mg(一般名:ソトロビマブ)、新型コロナウイルス感染症(Covid-19)に対する治療薬として製造販売承認を取得』

当科のインフルエンザワクチン予約について

10月1日に予約開始を目指していましたが、いつ何本確保できるかぎりぎりになってやっと判明しました。現在新型コロナワクチンの日程との兼ね合いを検討中で、10月8日(金)に予約をスタートできるように準備中です。高齢の方はお電話や窓口でも受付しますが、基本的には例年通り、専用サイトからの予約(現在の新型コロナワクチンの予約サイトと共通のシステムです)になります。

高齢者の方のインフルエンザ定期接種としましては、10月21日(木)以降であれば、自己負担1,500円で接種できることは決まっています(去年のような無料ではありません)。

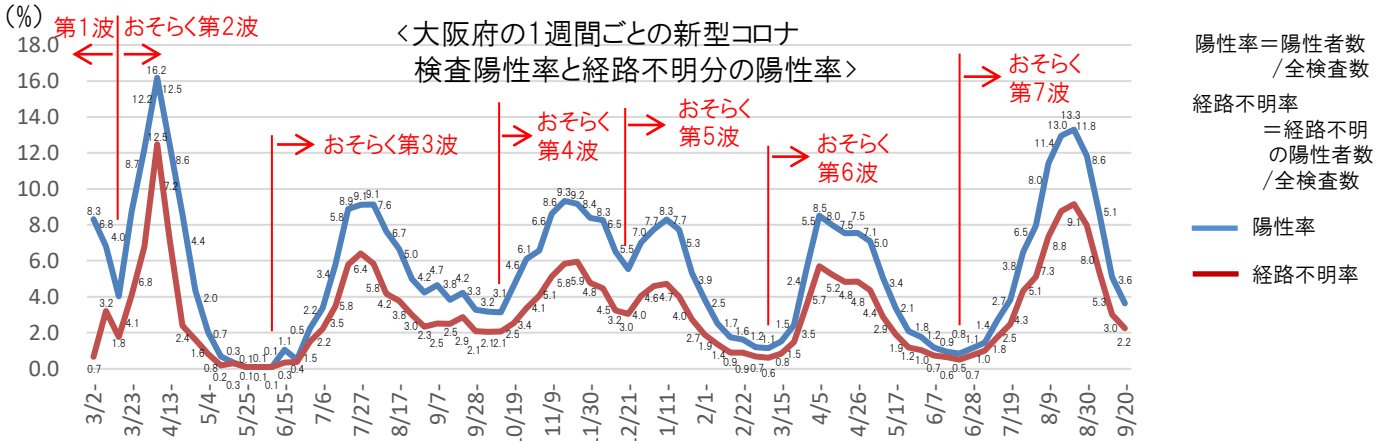


予約専用
サイト
(現在はコロナ
ワクチン予約
の部分しか
出てきません)

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種 受付中 ～令和4年2月末までです。まだの方はお早めに～

平成31年3月25日から始まった、風しん第5期定期接種のクーポン券の有効期限は令和4年2月末です。対象は昭和37年4月2日生から昭和54年4月1日生の男性で、平成31年、令和2年に配達されたクーポン券もそのまま使用できます。クーポン券を紛失している場合も、堺市在住の方で運転免許証やマイナンバーカードなどで、本人確認ができ、堺市在住であることと生年月日が証明できれば、抗体検査や麻しん風しん(MR)ワクチン接種に進むことができます。当科では随時対応可能です。ひとつ条件があるとしたら、コロナワクチン前後2週間にMRワクチンはできません。

大阪府の新型コロナ感染症陽性率・経路不明率、改善中



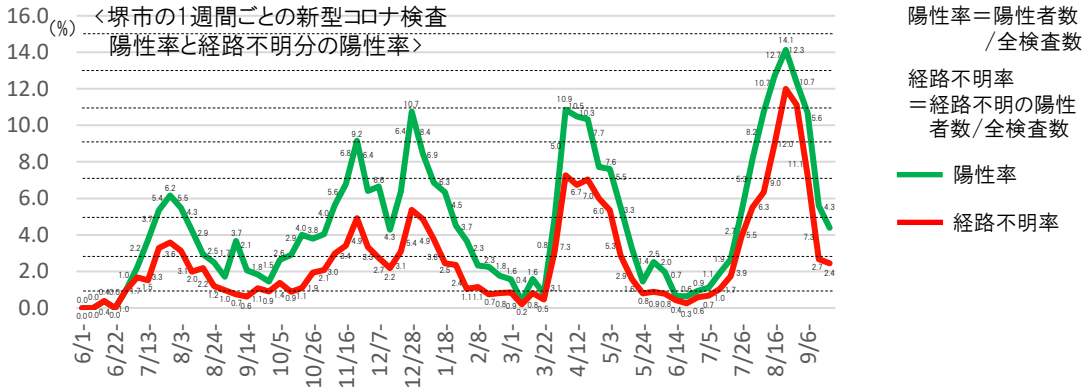
大阪府の新型コロナ検査陽性率・経路不明率は1か月かけて、改善中です。

出典：大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2021/9/26』

堺市の新型コロナ感染症陽性率・経路不明率も改善中

堺市の陽性率や経路不明率も改善してきていますが、見た目では下げ止まりになるかもしれません。

出典：堺市危機管理室 Twitter 最終更新 2021/9/26



車待機方式を継続中

日本脳炎ワクチンはかなり手に入りにくいままです。

先月号で少し流通するかもとしていた日本脳炎ワクチンですが、結局かなり手に入りにくいままです。下記の優先条件で、ワクチンが確保ができてからの接種になっています。

- ①今から1期の1回目・2回目の方
- ②来年早々までに定期接種の期限を迎える方
- ③2003年(平成15年)度生まれで通知が届いた特例対象者の方

ムンプスワクチンも10月末までかなり手に入りにくい状態です

10月・担当医の変更

5日(火) 赤澤→片桐 9日(土) 片桐→赤澤
19日(火) 赤澤→片桐 23日(土) 片桐→赤澤